

◎ 血液検査結果表の見方

《赤血球系の検査》

- **HCT** (ヘマトクリット) : 血液中の赤血球容積の割合で、%で表されます。HCT が減少すると貧血と判断されます。
- **HGB** (ヘモグロビン) : 一定血液量あたりのヘモグロビン量です。ヘモグロビンは赤血球に含まれる赤い色素で、隅々の組織に酸素を運搬するのに役立っています。
- **MCHC** (平均赤血球ヘモグロビン濃度) : 単位赤血球量あたりのヘモグロビン濃度で、HCT とHGB の値から算出されます。

《白血球系の検査》

- **WBC** (総白血球数) : 顆粒球とリンパ球、単球を合わせた白血球の総数です。
- **GRANS** (総顆粒球数) : 白血球のうちの顆粒球の総数です。顆粒球とは、「好中球」「好酸球」「好塩基球」から構成されています。
- **%GRANS** (顆粒球%) : 白血球のうちの顆粒球の割合を%で表わしたものです。
- **NEUT/EOS** (好中球/好酸球) : NEUT は好中球、EOS は好酸球のことです。好中球は主に炎症性の疾患の際に上昇します。好酸球は主にアレルギーなどの免疫疾患の際に上昇します。当院の検査機器では、犬の場合のみ、好酸球が自動的に測定されます。
- **L/M** (リンパ球/単球) : 白血球のうちのリンパ球と単球を合わせた数が表示されます。単球は主に慢性の炎症性疾患の際に上昇します。
- **%L/M** (リンパ球/単球%) : 白血球全体のうちのリンパ球と単球の割合を示したものです。

《その他》

- **PLT** (血小板数) : 血小板の数です。血小板は血液の凝固に重要な役割を果たしています。
- **Retics** (網状赤血球率) : 染色性のある若い赤血球の割合で、出血や溶血などによる貧血の際には増加します。

《血液化学検査》

- **ALB** (アルブミン) : 血液中の蛋白質の一種で、肝臓で合成されます。肝機能の指標となります。
- **ALKP** (アルカリフォスファターゼ) : 肝酵素のうち胆管系に関連の深い酵素です。
- **ALT** : 肝臓の細胞に含まれる酵素です。肝障害の際には上昇します。
- **AMYL** (アミラーゼ) : 主に膵臓から分泌される消化酵素です。
- **AST** : 肝臓や筋肉、心筋に含まれる酵素です。肝障害や筋肉疾患の際には上昇します。
- **CA** : 血液中のカルシウムです。CA は筋肉や神経などの細胞の動きに重要な役割を果たしています。
- **CHOL** : 血液中のコレステロールです。
- **CREA** (クレアチニン) : 腎不全の指標となります。
- **GLU** (グルコース) : 血糖値のことです。
- **LIPA** (リパーゼ) : アミラーゼと同様、膵臓から出る消化酵素です。膵炎の指標になります。
- **NH₃** (アンモニア) : 蛋白質の分解産物で、肝臓で代謝されます。肝機能の指標となります。
- **PHOS** (無機リン) : 腎不全の重症度の指標となります。
- **TBIL** (総ビリルビン) : ヘモグロビンの分解産物で、肝臓で合成・排泄されます。TBIL の上昇は黄疸の原因となります。
- **TP** (総蛋白) : 血液中の蛋白質で、主にアルブミンとグロブリンからなります。
- **TRIG** (トリグリセライド) : 血液中の中性脂肪です。
- **BUN** (尿素窒素) : 脱水や循環不全、腎機能低下で上昇します。腎不全の指標となります。
- **Na, K, Cl** (電解質) : 神経や筋肉その他全ての細胞の活動に重要な役割を果たしています。